

# 上越魚沼地域振興快速道路十日町道路に係る直轄調査結果(概要)

## 【求められる機能】

○**信頼性の高い交通ネットワークの形成**  
 国道253号現道区間の厳しい縦平面線形、災害等の交通障害リスクを回避し、信頼性の高いネットワークを形成することが必要。

○**魚沼地域の医療サービスの向上を支援**  
 魚沼地域五市町※を圏域とする三次医療施設である「魚沼基幹病院」が平成27年6月に開院するも、到着に60分以上かかる地区が存在するため、到達時間の短縮による医療サービスの向上が必要。

※魚沼地域五市町：魚沼市、南魚沼市、湯沢町、十日町市、津南町

○**観光振興の支援**  
 関越自動車道六日町ICから広域交通体系を延伸させることで、観光を主要産業の一つとする十日町市へのアクセス性が向上し、観光振興の支援が可能。

## 【技術的な課題】

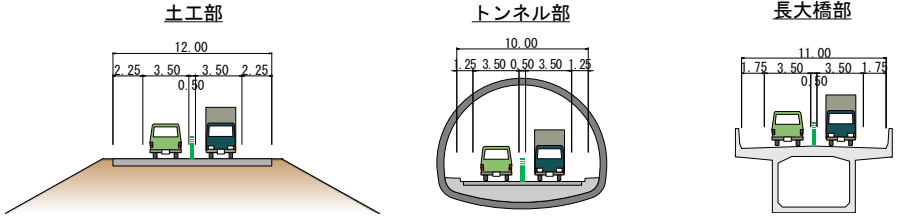
○ 十日町道路は、地質的に極めて脆弱な未固結地山である「魚沼層」を通過し、信濃川に向かって傾斜する流れ盤構造であることから、トンネル掘削時に、地山の流動・切羽崩壊、大規模な地すべりの滑動が懸念され、施工方法や施工管理において、高度な技術力を活用することにより事業実施が可能となる。

○ また、発達した河岸段丘を通過するため高低差が激しく、信濃川渡河橋梁はハイピアかつ長大橋の大規模な構造となる。橋脚基礎部の地盤は河床堆積物が想定されることから、支持層の選定において、高度な技術力を活用することにより事業実施が可能となる。

## 【ルート・構造案】



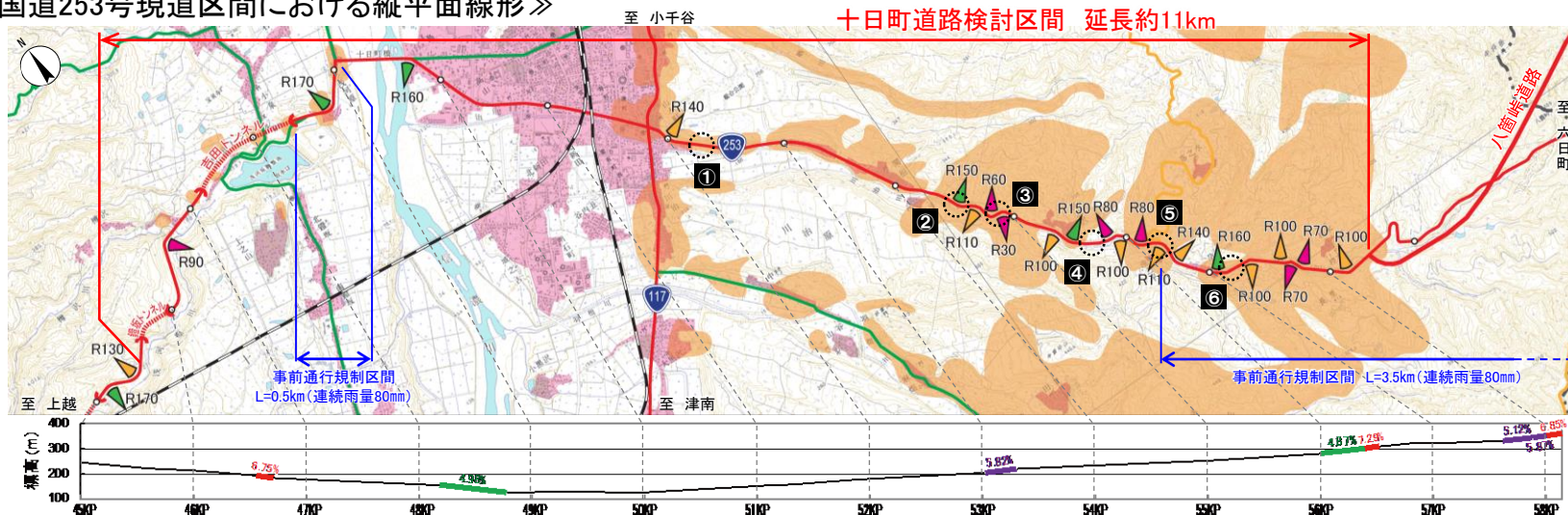
《標準横断面図》



# 求められる機能 ①信頼性の高い交通ネットワークの形成

- 国道253号現道区間では、縦平面線形の厳しい区間が存在するほか、平成23年7月には新潟・福島豪雨により長時間に渡って通行規制が発生するなど、ネットワークとしての信頼性が低い。
- 現道における厳しい縦平面線形区間や災害等の交通障害リスクを回避し、信頼性の高いネットワークの形成が求められる。

《国道253号現道区間における縦平面線形》

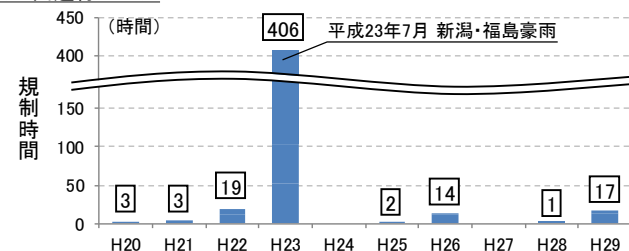


《新潟・福島豪雨被災状況(平成23年7月)》

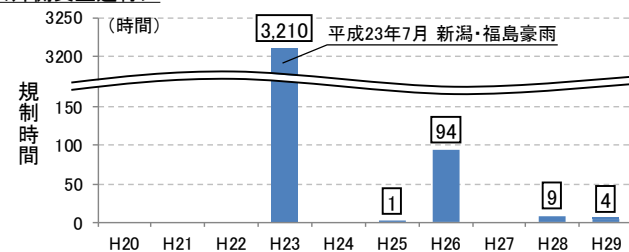


《通行規制発生状況(過去10年)》

＜全面通行止め＞



＜片側交互通行＞

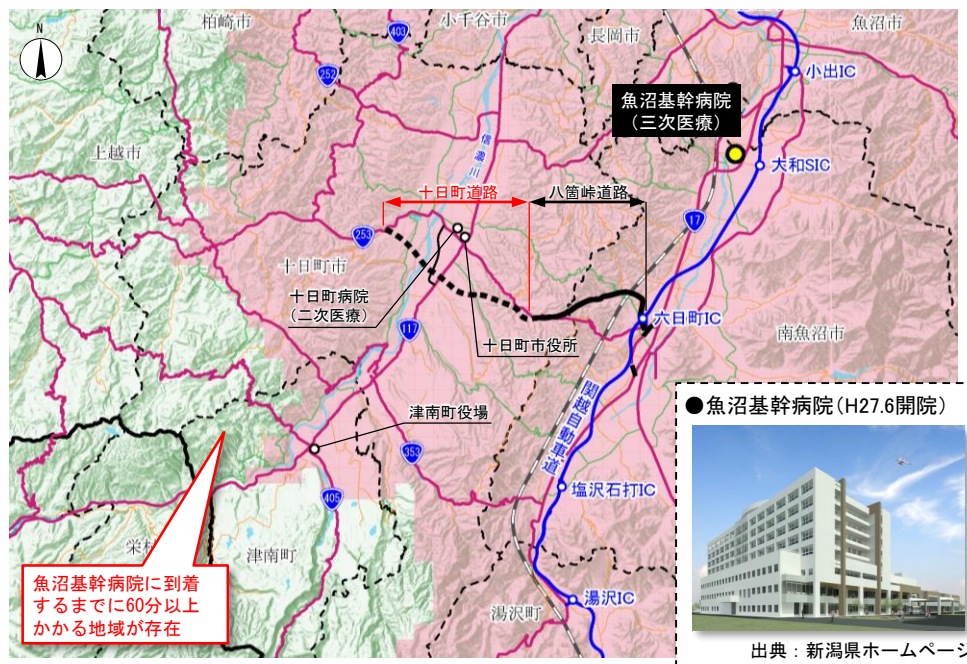


# 求められる機能 ②魚沼地域の医療サービスの向上を支援

- 魚沼地域五市町※を圏域とする三次医療施設である「魚沼基幹病院」が平成27年6月に開院するも、到着に60分以上かかる地区が存在。
- 魚沼基幹病院開院以降、十日町市および津南町から魚沼基幹病院への救急搬送件数が増加傾向にある中で、到達時間の短縮による医療サービスの向上が求められる。

※魚沼地域五市町：魚沼市、南魚沼市、湯沢町、十日町市、津南町

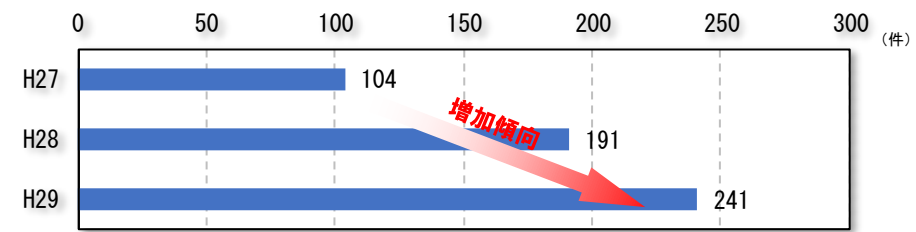
## 《魚沼基幹病院60分圏域》



魚沼基幹病院に到着するまでに60分以上かかる地域が存在

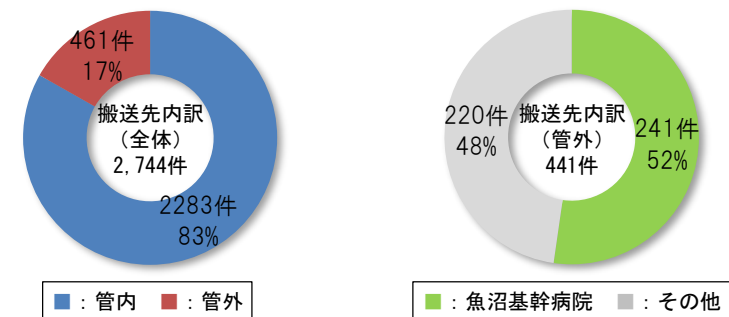
## 《十日町市・津南町の救急搬送実績》

＜十日町市・津南町から魚沼基幹病院への救急搬送件数＞



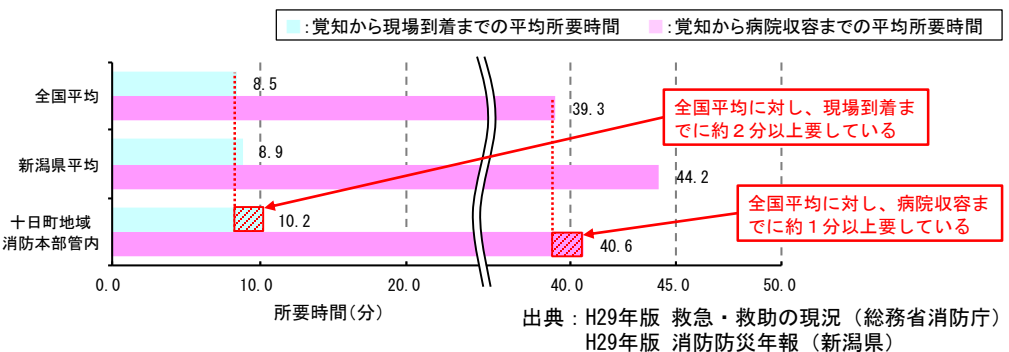
集計単位は、1月1日～12月31日（H27は6月2日～12月31日の7ヶ月間の搬送件数）  
出典：消防年報（十日町地域広域事務組合、十日町地域消防本部・署）

＜十日町地域消防本部の搬送先内訳(H29年中)＞



出典：2018消防年報(十日町地域消防本部)

## 《覚知から現場到着および病院収容までの平均所要時間(H28年中)》



## 地域の声（十日町地域消防本部）

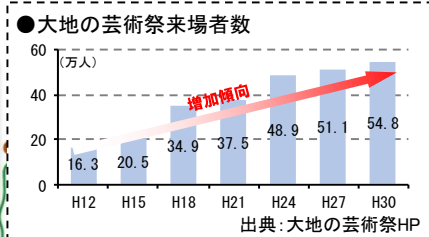


- ・ 患者の搬送のため、1日に1回以上は魚沼基幹病院に行っているが、**カーブが多く問題**と感じている。
- ・ 雪崩や凍結が起きにくく、冬期の安全性、走行性を確保することに加え、土砂崩れなどの災害により、**通行止めとならないことが重要**。
- ・ **十日町道路ができれば、患者の搬送等で利用する**ことになると思う。

# 求められる機能 ③観光振興の支援

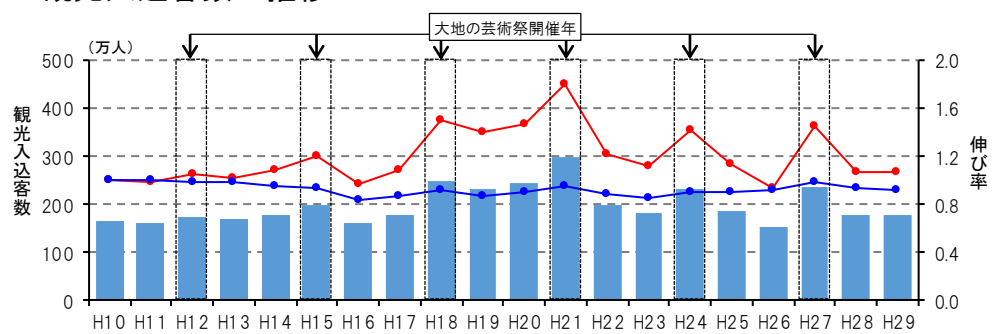
- 十日町市の観光入込客数は近年増加傾向にある一方、県外観光客の多くを占める関東方面と接続する広域交通体系が不足している。
- 人口減少・高齢化が進む中で、首都圏等から十日町市に観光客を誘引し持続的な地域活性化を図るため、広域交通体系の整備による観光交流の拡大が求められる。

## ＜対象地域周辺の主要観光施設＞

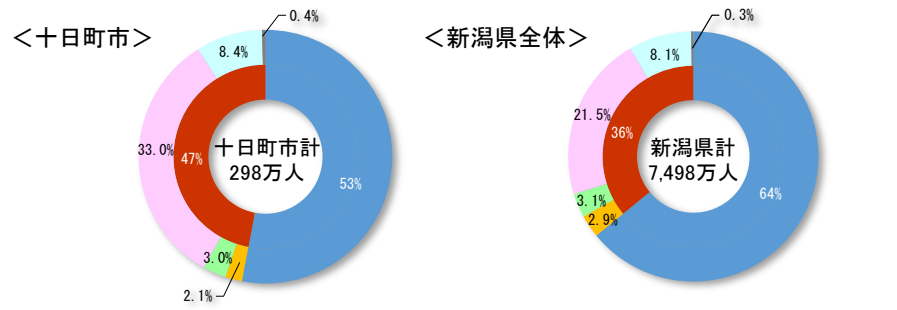


出典: 【位置図】雪国観光圏整備計画 (H20.9)  
【写真】(一社)十日町市観光協会HP、(公社)新潟県観光協会HP「にいがた観光ナビ」

## ＜観光入込客数の推移＞



## ＜観光入込客数 出発地割合＞



## 地域の声 (津南町観光協会)



・関東方面の方から、「津南町へはどのルートで行くのが最も良いか?」といった問い合わせをよくいただく。

・特に雪まつり(毎年3月開催)が近くなると、「峠を通るのが怖い、高低差の少ないルートはどれですか?」といった問い合わせが多く寄せられるが、こちらとしても**できるだけ安全なルートを案内したいため、少し遠回りになってしまうが雪の少ない道を案内する場合もある。**

# 技術的課題

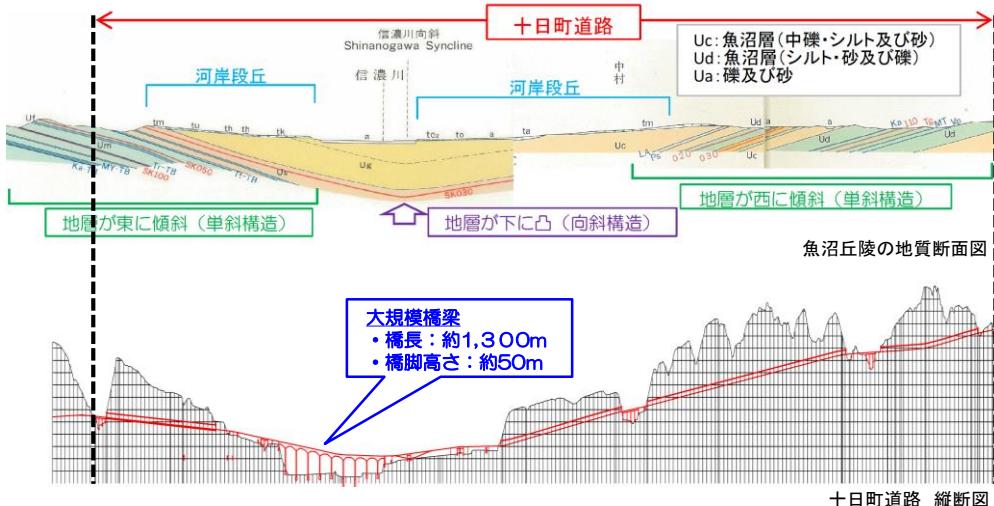
- 十日町道路は、地質的に極めて脆弱な未固結地山である「魚沼層」を通過し、信濃川に向かって傾斜する流れ盤構造であり、地すべり地形も多数分布する地質状況である。そのため、トンネル掘削時に、地山の流動・切羽崩壊、大規模な地すべりの滑動が懸念され、施工方法や施工管理において、高度な技術力を活用することにより事業実施が可能となる。
- また、発達した河岸段丘を通過するため高低差が激しく、信濃川渡河橋梁はハイピアかつ長大橋の大規模な構造となる。橋脚基礎部の地盤は河床堆積物(砂礫層・砂層)が想定されることから、支持層の選定において、高度な技術力を活用することにより事業実施が可能となる。

## 《地質状況図》



## 《地すべり地形分布図》

出典: 防災科学技術研究所



## 《地形・地質の課題》

- 十日町道路が通過する「魚沼層」は、年代の新しい地層であり、極めて脆弱な未固結地山である。  
⇒トンネル掘削時において、地山の流動化、切羽崩壊の危険性が高い。
- 発達した河岸段丘を通過するため、信濃川に向かって傾斜する流れ盤構造であり、地すべり地形が多数分布する  
⇒トンネル掘削時の地盤の緩みにより、大規模な地すべり(深層崩壊)を誘発する可能性がある。
- 発達した河岸段丘を通過するため、信濃川渡河部で高低差が激しく、また、基礎地盤は河床堆積物(砂礫層・砂層)が想定される。  
⇒ハイピアかつ長大橋の大規模な構造とする必要があり、また、慎重に支持層を選定する必要がある。